

第10回TRIZシンポジウム閉会にあたって

(TRIZ Symposium 2014 in Japan)

TRIZで拓く未来!

(2014年9月11日～12日:早稲田大学理工キャンパス)

NPO法人日本TRIZ協会副理事長
澤口 学

- 本年度も昨年に引き続き2日間(平日)のシンポジウムとして実施しました。今年も企業関係者の参加者が多かったと思います。今後は、大学関係者の参加も積極的に働きかけていきたいと考えております。
- 昨年同様、第1日目の午前中にチュートリアル(主に初心者対応:桑原氏)、午後は田口伸氏によるタグチメソッドの特別講演を配置しました。
- 10周年記念のシンポジウムとして、1日目の夕方に、パネルディスカッション(7名のパネラー)を企画・開催できたことは良かったと思います。特に、TRIZの関連技法として、QFD、TMとの連携やイノベーション活動とTRIZとの関わりなど、会場からの意見も交えて積極的にできて有意義であったと思います。(ただし、会場移動や機器のセット等の段取りに若干時間がかかり、開始が遅れたことは反省したいと思います。)
- 2日目には、アナトニー・ギン氏の基調講演(AM)とポスター発表(PM)を配置しました。

・口頭一般発表は、昨年(20テーマ)に対して、**2件増えて22テーマ**の実績でした。来年も今年以上の発表者を期待します。

海外からの参加者に関しては、例年少なくとも数名は参加されていた韓国から参加者がゼロだったのは誠に残念ですが、インテルからの参加者を含めて、米国、ロシアやブラジル等から5名ほどの参加者でした。その一方で、国内の参加者は増えました。一つの理由としては、昨年同様に**2日間(平日)にして参加しやすい体制**が定着したからではないかと推測しております。

■参加者数(国内・海外) ・昨年:126名
 ・今回:134名

来年の第11回大会も、さらに多くの参加者を期待したいと思います。

第10回のシンポジウムでは

- 後援: 品質工学会、日本知財学会
- 協賛: 日本設計工学会、日本科学技術連盟、日本バリュー・エンジニアリング協会、情報・システム研究機構、統計数理研究所リスク解析戦略研究センター、日刊工業新聞社、応用統計学会、日本創造学会

■ 昨年(2013年)の後援: 2団体、協賛: 4団体に比較して今年(2014年)は、**後援: 2団体、協賛: 8団体**となり、昨年に引き続いて、大幅に支援団体を増やすことができました。これもひとえに関係者の皆様のご理解と努力のたまものと考えます。

■ 来年度の**第11回大会**でも、TRIZの認知度Upおよび参加者の増加を図るべき新たなイベント等の企画も、今年に引き続いて検討したいと思えます。

■シンポジウム実行委員会

実行委員長：三原祐治

実行副委員長（兼会計担当）：津波古和司

実行委員（事務局）：池田理、大田哲也

実行委員（ホスターセッション担当）：福嶋洋次郎

実行委員（スライド翻訳）：津波古和司、小西慶久

実行委員（広報担当）：前古護、

広報委員会プログラム委員長：小西慶久

プログラム委員：有田節男、坪倉紀子、澤口学、大田哲也

■開催準備協力

会場担当：早稲田大学経営デザイン室 鈴木琢也、澤口学

ポスター&パンフレットデザイン：志方淳子、開催準備：古謝秀明

■会場設営

早稲田大学経営デザイン室 鈴木琢也 TRIZ協会運営委員（敬称略）

会場関係

今回のシンポジウム開催に当たり、会場の使用を快諾戴
また種々の便宜を図って戴きました。

早稲田大学創造理工学研究科経営デザイン専攻の関係者の皆様には厚く御礼申し
上げます。

第10回TRIZシンポジウム 閉会にあたって

シンポジウムも予定された日程を終えました。

- ・技術問題解決/ビジネス問題解決/リスクマネジメントetc
- ・教育/社内展開 等々

に対するTRIZの使い方(他の技法:QFD, TM, 機能系統図, 情報積算法等との組合せを含む)の充実した内容の発表が行われ、活発な討論が行われました。

これも皆様のご協力があったのものであります。

厚くお礼を申し上げます。

これらの知見を皆さんの所属機関に持ち帰って、TRIZの研究/利用/応用に役立てていただけるものと期待します。

運営面では、いくつか不備な点があったこととお詫び申し上げます。

■TRIZシンポジウムでの活動はもとより、**日本TRIZ協会の活動は会員ベースの公共的なボランティアベースの非営利法人活動で行われています。**

■TRIZを、広く日本に普及し、それによる産業の発展をめざして、研究会活動の参加をはじめとして、**TRIZ協会の活動に皆さんの積極的なご参加をお願いします。**

研究会活動

- 1) 知財創造研究分科会（主査：長谷川公彦氏）
- 2) ビジネス・経営TRIZ研究分科会（主査：吉澤郁雄氏）
- 3) あたらしい時代のTRIZ教育分科会（主査：黒澤槇輔氏）

- 来年度は次の10年への飛躍の年となる**第11回大会**です。
- ・ 日程：**2015年8月の最終週か9月の第一週(木)(金)**で調整中
- ・ 場所：例年通り**首都圏**で開催予定(数力所の候補地から近々に決定予定)。
- 来年度も可能な限り**特別企画等も継続して実施していく**所存でございます。

今から、日程調整をお考えください。

次回のシンポジウムには是非発表をお願いします。

→ **今から発表に向けて準備をお願いします。**

と同時に、今年同様活発な意見交換をお願いします。

第10TRIZシンポジウムへのご参加 ありがとうございます
이었습니다。

あらためてお礼申し上げます。

◆来年のシンポジウムのためにも、アンケートの記入にご協力をお願いします。

◆あなたにとって良かった講演の「投票」をお願いします。

また名札の回収にご協力ください。